

## 城里町議会運営委員会会議録

日時 平成30年5月29日(火)

午後 2時00分

場所 城里町役場 3階 委員会室

---

### 出席委員(7名)

委員長	関 誠一郎 君	副委員長	鯉 渕 秀 雄 君
	小 林 祥 宏 君		河原井 大 介 君
	藺 部 一 君		片 岡 藏 之 君
	藤 咲 芙美子 君		

### 欠席委員(なし)

### 地方自治法第105条の規定により出席した者(1名)

議 長 小 坏 孝 君

### 説明のため出席した者の職氏名

まちづくり戦略課長	大曾根 直 美
総 務 課 長	河原井 明
財 務 課 長	高 堀 義 美

### 職務のため出席した者の職氏名

議 会 事 務 局 長	阿久津 雅 志
主 任 書 記	松 崎 英 明
書 記	市 村 真 紀

---

### 議会運営委員会次第

- 1 開 会
- 2 委員長挨拶
- 3 議長挨拶
- 4 協議事項

(1) 平成30年第2回議会定例会の運営について

- ① 議事日程(案)について (資料1)
- ② 一般質問について (資料2)
- ③ 会期日程(案)について (資料3)
- ④ 請願の取扱いについて (資料4)

(2) その他

5 閉 会

---

午後 2時01分開会

## 開 会

○委員長（関 誠一郎君） 定刻になりましたので、始めたいと思います。

ただいまから平成30年第2回議会定例会開催に伴う議会運営委員会を開催いたします。  
本日は、何かとご多用中のところご出席をいただき、大変ご苦労さまでございます。

---

### 委員長挨拶

○委員長（関 誠一郎君） さて、本日の会議は、来る6月5日に予定されております平成30年第2回議会定例会に提案される予定の案件及び一般質問等について確認をいただき、また会期日程等について審議決定をするものであります。

慎重なる審議と委員会運営には特段のご協力をお願いし、開会の挨拶といたします。

---

### 議長挨拶

○委員長（関 誠一郎君） なお、本日、小坪議長が出席されておりますので、ご挨拶を  
いただきたいと思います。

お願いします。

○議長（小坪 孝君） 皆さん、こんにちは。

委員各位にはご多用のところご出席をいただきまして、ありがとうございます。

昨日、議長と副議長と事務局と3人で市町村の研修会が東京でありましたので、そこに  
出席してまいりました。

その中で、いろんな市町村、日本全国から集まった中で議会改革を一生懸命やっている  
ところが3町村発表がありまして、おもしろいことだと思って話を聞いたんですけども、  
その中で一般質問のほうだけ30分ということで、あと答弁をもらおうと。1人が終わったら  
ば休憩を入れるんですって、休憩を入れたらば、その一般質問に対して傍聴者が意見があ  
ったり、要望があったりした場合に、3分以内で傍聴席からマイクを使って質問をさせる  
という市町村があって、それは壇上からそういう形で説明していました。傍聴者が納得い  
くようにそういう形をとりましたということで、それがかなり好評みたいで、納得して傍  
聴者がかなりふえているというか、町の執行部に対しては町民が全員議員さんになってい  
るような感じで、本当に目が光っている町村なのかなという感じがいたしました。

余談であります。そういう研修をしてきましたので、皆様に報告したいと思います。

本日はよろしくお願ひいたします。

○委員長（関 誠一郎君） ありがとうございます。

---

#### 協議事項

○委員長（関 誠一郎君） それでは審議に入ります。

（１）平成30年第２回定例会の運営についてを議題といたします。  
最初に、①の議事日程（案）について事務局より説明を求めます。  
事務局。

○議会事務局長（阿久津雅志君） それでは、議事日程につきましてご説明申し上げます。

１ ページ、資料１の議事日程（案）をごらんください。

日程第１につきましては会議録署名議員の指名でございます。

日程第２は会期の決定でございます。

定例会に係る案件は、日程第３からでございます。

議案の関係になります。日程第３、議案第40号 城里町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例についてから日程第12、議案第49号平成30年度城里町公共下水道事業特別会計補正予算（第１号）についてまでの10件でございます。

次に、請願第１号 黒澤止幾の生家保存に関する請願が１件でございます。

最後に、報告関係でございます。

日程第14、報告第25号 城里町医療福祉費支給に関する条例施行規則の一部を改正する規則から、日程第30 報告第41号 例月出納検査報告（４月、５月執行分）の17件となっております。

以上、本定例会に提案されます議案10件、請願１件、報告17件、合わせて28件でございます。

以上、議事日程についてご説明申し上げます。ご審議のほどよろしくお願ひ申し上げます。

○委員長（関 誠一郎君） ただいま説明が終わりましたので、ここで議事日程（案）に対するご意見、ご質問がございましたらお受けいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（関 誠一郎君） なければ、進行してよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（関 誠一郎君） ありがとうございます。

それでは、次に、②の一般質問についてを議題といたします。  
事務局より説明を求めます。

事務局長。

○議会事務局長（阿久津雅志君） それでは、3ページ、資料2をお開きください。

今回の一般質問者につきましては4名の議員さんから通告がございました。

通告順に説明いたします。

まず、1人目、10番、阿久津則男議員より通告がございました。質問は2項目でございます。内容は記載されてございますとおりでございます。

続きまして、ページをめくっていただきまして4ページをお願いいたします。

2人目、藤咲議員より通告がございました。質問は2項目でございます。内容は記載されているとおりでございます。

続きまして、5ページをお願いいたします。

3人目、桜井議員より通告がございました。質問は2項目でございます。内容は記載されているとおりでございます。

続きまして、6ページをお願いいたします。

4人目といたしまして、7番、三村議員より通告がございました。項目は3項目でございます。内容は記載されているとおりでございます。

以上、今定例会の一般質問通告者は4名でございました。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（関 誠一郎君） ただいま説明が終わりました。

事務局の説明どおり、質問者は合計4人ということで決定してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（関 誠一郎君） ありがとうございます。

それでは、質問者4名と決定いたします。

次に、③会期日程（案）についてを議題と……

〔「ちょっと委員長、1点だけいいでしょうか」と呼ぶ者あり〕

○委員長（関 誠一郎君） はい。

○副委員長（鯉渕秀雄君） 通告順の1番で、阿久津議員の質問の中で給食の食べ残し、これを数字で求めるということなんですが、この数字というのはどういうことなのか、確認していますか事務局。

○委員長（関 誠一郎君） 事務局長。

○議会事務局長（阿久津雅志君） どのような状況かと3年間の数字を求めるということで、おおよそ量とか重さかなということで教育委員会のほうには伝えていきます。

○委員長（関 誠一郎君） じゃよろしいですか。

次に、③会期日程（案）についてを議題といたします。

事務局より説明を求めます。

事務局長。

○議会事務局長（阿久津雅志君） それでは、平成30年第2回議会定例会会期日程（案）につきましてご説明申し上げます。

7ページ、資料3をお願いいたします。

第2回議会定例会の開催につきましては、6月5日火曜日が初日となるところでございます。

こちらの案は、会期を8日間で終了する日程（案）でございます。

まず、初日の5日火曜日は、提案理由の説明、請願、委員会付託等を行いまして、散会となる日程（案）でございます。

翌6日は、一般質問を予定しております。

一般質問は4名ですので、1日で終了することを予定してございます。

翌7日木曜日から11日月曜日までは議案調査及び議員整理といたしまして休会とし、12日火曜日には質疑、討論、採決、請願、報告を受けまして、閉会と予定したものでございます。

なお、8ページに参考資料といたしまして、昨年度の会期日程実績を添付してございます。

以上、平成30年第2回議会定例会の会期日程（案）としたものでございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○委員長（関 誠一郎君） 説明が終わりましたので、会期日程（案）に対するご意見、ご質問がございましたらお受けいたします。

菌部委員。

○委員（菌部 一君） 私、この会期中に産業常任委員会を開きたいと思うんですが、これはここで決めないとまずいですかね。

○委員長（関 誠一郎君） 請願ね。

○委員（菌部 一君） 請願もあるし、今回の農業政策課のもうちの方で委員会を開きたいと思っていますので、委員長には相談してあれなんです。

○委員長（関 誠一郎君） それは、当日の朝。朝、委員長報告でやっていただくということにしております。

○委員（菌部 一君） はい。

○委員（河原井大介君） 今先ほどの話で、委員会開くと。この請願については所管で担当されていていいと思うんですが、公金横領の件については連合審査会、通称連合委員会を開きたいと思いますので、私としては一緒に合同でその問題と、その他、もっと言えば緊急事態マニュアル、つまり不祥事の対応マニュアルについて少し皆さんと一緒に協議したいと思いますので、合同委員会、連合委員会、連合審査会ですが、開催をしていきたいと思っています。よろしく申し上げます。

○委員長（関 誠一郎君） 菌部さんはこの間の公金横領の件も。

- 委員（藺部 一君） はい。
- 副委員長（鯉淵秀雄君） どういうことなんですか。それは、教育民生の今、連合と言っていたけど。
- 委員（藺部 一君） その辺は話はしてないので、ちょっと私の方もそれは……
- 副委員長（鯉淵秀雄君） 要するに、情報を共有するために議会としてやりましょう、やりたいということなんでしょう。
- 委員（藺部 一君） だとすれば、2回に渡っては……
- 委員（河原井大介君） 例えば、請願の審査が終わったらまたやるわけですから、継続してやるわけでしょうから、そこに合同で合流する形がいいと思います。
- 副委員長（鯉淵秀雄君） 合同でって、議員全員でやるということ。
- 委員長（関 誠一郎君） 合同だとそうだよな。
- 副委員長（鯉淵秀雄君） その公金横領というのは、どういう観点から公金横領と言う言葉が出てくるの。
- 委員（藺部 一君） この間の何ていうのですか。
- 委員長（関 誠一郎君） 転作のでしょう。
- 副委員長（鯉淵秀雄君） 転作といえ、要するに広報委員会の中でそれを載せるということで措置したと。
- 委員長（関 誠一郎君） それじゃなくて、この間、農政課の職員が。
- 副委員長（鯉淵秀雄君） 農政課で報告受けたやつ。そのあれを議会として全体でまたやりましょうということ。どういう観点から。
- 委員（藺部 一君） 委員会開いて、再度。
- 委員（小林祥宏君） 転作の金は関係ないんじゃないの。農家には全然支障きたしてないって聞いたんだけど。
- 委員（藺部 一君） そう私も聞いています。
- 委員長（関 誠一郎君） 転作は全部支払っているんですよ。
- 委員（小林祥宏君） そんだから、その辺。
- 委員（片岡藏之君） その他の事務費の方の。
- 委員（小林祥宏君） 事務費の問題だっぺ。
- 委員（片岡藏之君） そうそう。
- 委員（小林祥宏君） 事務費はそれだけ補てんして……。
- 委員長（関 誠一郎君） 実際に三千数百万のお金が払われてきます。要するに、転作を行った農家には全て支払いました。残った事務費、事務費というのはこれは随分高いなとは考えていたんですよ、かなりの金額なんだなと。その辺も聞きたいのがあるんでしょうから。
- 委員（藺部 一君） 私も最初は、転作の費用そのものかなと思ったんですよ、そうで

ないということは担当課長に聞いて承知はしたんですが、委員の一般の方も、勉強されている方は知っているかもしれないんですが、そういったことなもので、委員としても意識合わせは大事なのかなと思って考えたわけなんです。

○副委員長（鯉渕秀雄君）　ということは、これは議員全員でやりましょうということは、議長のほうには進言して議長の了解をもらってあるんですか。

○委員（河原井大介君）　今進言して、その前段として……。

○議長（小唄 孝君）　委員長が合同でやるって言うんだ。

○委員（河原井大介君）　委員会が合同でやりたいという提案をしているんですから、委員会が決めていただければ。

○副委員長（鯉渕秀雄君）　全員でやりましょうというときは議長でしょうよ。

○委員（河原井大介君）　違います、違います。委員会をやるといったときに、委員会で合流ですから委員会が中心で、そこを許可いただけますか、どうですかと。

○委員長（関 誠一郎君）　藤咲委員。

○委員（藤咲芙美子君）　あのね、今河原井委員の提案したものというのは、私も初めて聞きましたけれども、この委員会の中で何かの問題があったときに、委員会というか議会の中で問題があったときに、各委員会が連合して討議するというのは、議員必携の中にも書いてありました。ですので、何か提案して話し合いたいとか、討議したいとか、審議したいとかというときには、合同で、連合でできるということは書いてありましたね。ですので大丈夫だとは思うんですけども。

○委員長（関 誠一郎君）　それは大丈夫だと思うんですけども、ただ、議長が……。

○副委員長（鯉渕秀雄君）　目的や問題が明確になってなければできないでしょうよ。何のために合同で委員会やって、そのあれを、横領問題を。

○委員（藤咲芙美子君）　それがわかった上で提案しているんです。

○委員（小林祥宏君）　だからね、テーマがどういうテーマでやるのか。それはきちっとしないと。テーマが合わないというならば議長になっちゃうと思うんだよな。

○議長（小唄 孝君）　議長としては、この間の説明会で……

○委員（小林祥宏君）　もう終わってるよと。

○議長（小唄 孝君）　一回説明受けたから、議会全体ではこの間集めて説明を受けました。議長と副議長で判断して、そういう形で委員長さんらが、またその説明を委員会で聞きたいという話ですので、それは菌部さんからこの間話を聞いて、それは了解しました、私のほうで。委員会でやはり説明を十分に聞いてくださいというのを私は許可しましたので、何とぞご理解いただきたいと思います。

○委員長（関 誠一郎君）　そこで総務委員長からも話がありましたと。

○議長（小唄 孝君）　はい。それはきょう初めて聞いたので。

○委員（小林祥宏君）　両方の委員長のあれをしてもらって。



○議長（小唄 孝君） 議会としては、この間の説明会で、私は自分だと思っていますので、委員会で不足して聞きたいというのは、やはり委員会でやっていただきたいと思いません。

○委員（河原井大介君） この間のやつは緊急的に議長が招集されたものでやっていますし、その中で、記者会見の5時間前に集まって話を聞いただけですから、具体的なペーパーや、資料や、そういった相談の資料を請求しましたがけれども、その中に書いてある内容についてはよくわかっていないですね、ですから委員会を開くと所管で開くというわけですから、非常にそういったものもありますし、総務のほうから言えば、まさに2週間にわたって議会にも報告なされなかったということもありましたし、いずれにしてもその内容についてどういうふうな対応を今後していくのかということに関しては、一度確認をしなければいけないということです。

○議長（小唄 孝君） 確かにね、この間の資料もらったやつの中で、要するに生産調整会議が3月19日、我々の臨時議会の初日の日に会議をやるようなひな型が渡されているんだよね。私らも資料をもらってから気がついたから、委員会でやるんだったらば、やはりそこら辺、臨時議会の初日の日にあの委員会がぶつけられているんだよね、そのときに議長も決まってない、総務委員長も決まってないんだけど、その中にメンバーが入っているんだよね。私が入ったり、総務委員長の河原井さんが入ったり。だから、そういうメンバーが構成されて、臨時議会の初日、22日だよね、あれね、議長決まったのは。19日は招集だけで、その日に生産調整会議が開かれてるんだよね、そこら辺を私は疑問に思っているんだよね。だからやはり、それは委員会で説明受けて下さい。そういう形が資料の中からありますので。

○副委員長（鯉淵秀雄君） そもそも実態のない組織なんだから……、実態はあるんでしょうけれども。

○議長（小唄 孝君） 実態はあるんだよな。

○委員（河原井大介君） 実態があるのにもかかわらず、実態のない組織にしてしまったということが問題なんです。

○議長（小唄 孝君） 今まで歴史は古いでしょ。この減反の調整のあれですから。何十年と続いているわけで。

○まちづくり戦略課長（大曾根直美君） 組織については何年間か前に新しく。

○議長（小唄 孝君） 減反で補助金が来ているというのは何十年だっぺ。

○委員長（関 誠一郎君） 片岡委員。

○委員（片岡藏之君） 今、ことしから減反がなくなっちゃったの。減反の割り当てのわざわざ集まってやる会議というのはなくなっちゃったんですよ。

○副委員長（鯉淵秀雄君） ただ、再生協というのは残してありますよ。

○議長（小唄 孝君） でも、19日にやっているように書いてあったよ。そんで、おらが

まだ議長になってねえんだけれども、メンバーに入っているようになっているから、そこから辺がやっぱり調べてもらえばね。

○委員長（関 誠一郎君） いずれにしても各常任委員会で受けるということで、議長よろしいですね。

○議長（小坪 孝君） はい。

○委員長（関 誠一郎君） わかりました。お願いします。

○副委員長（鯉渕秀雄君） それきちっと担当課へ連絡しておかないと。

○まちづくり戦略課長（大曾根直美君） これからとります。

○委員（河原井大介君） 今度は議長と相談してから提出します。

○議長（小坪 孝君） 担当課は忙しくて説明出来ないのか。県の調査だのあれが入って行ってひな型づくりやっていて、きょう町長に言ったんだ、返してもらえればいいわじゃなくて、職員が残業やったり、迷惑かけているんだから迷惑料そのものを少しもらったらよかったんじゃないかかって。職員が残業か何かやって残業代だったり夕飯食ったり、日曜日に出勤してそういうのだって強制的にやるように……。

○委員長（関 誠一郎君） 議事に戻ります。

日程（案）ですけれども、これでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（関 誠一郎君） 会期につきましては原案どおり決定としたいと思います。

続いて、④請願の取り扱いについてを議題といたします。

事務局より説明を求めます。

事務局長。

○議会事務局長（阿久津雅志君） それでは、請願の取り扱いについてをご説明いたします。

9 ページ、資料4をお開き願います。

今回、請願の提出が1件ございました。

請願第1号 黒澤止幾の生家保存に関する請願でございます。代表者は錫高野196の岡本栄様です。790名の署名がついてございました。紹介議員は鯉渕議員、三村孝信議員でございます。

請願の要旨を読み上げます。

町の誇りたり得る文化財黒澤止幾の生家が朽ち果てる寸前であるのに、生家保存の進捗状況が不透明です。早急に生家保存の実現にご尽力いただきますよう請願いたします。という内容でございます。

以上、簡単ではございますが、内容の説明をいたしました。ご審議のほどよろしく願いいたします。

○委員長（関 誠一郎君） ここで、請願に対するご意見、ご質疑をお受けいたします。

○議長（小坏 孝君） これ鯉渚さん何を望んでいるの。

○副委員長（鯉渚秀雄君） 要するに生家の保存を望んでいる様です。ただ、代替地での建てかえだとか、建設だとかそういうことではないです。

○議長（小坏 孝君） これ、ことしの年度予算で調査費が可決されているのに、この請願が何で出てくるのかなと。要するに、調査費用がつかないんだったらこういう請願が出てきてもしかりかなと思うんだけど、もう調査費が出ちゃっているのに、事が進んでいるのに何でこの請願が出てくるのかなという感じがするんだけど。

○委員長（関 誠一郎君） 小林委員。

○委員（小林祥宏君） これ、請願といっても、ただ保存にする請願ということなんだが、修復か元通りにするか、あるいは解体、移築か、いろんな問題があるでしょう、これね。その辺は。現在地に建てるのは、そういう風にはいってないんでしょう。

○委員（河原井大介君） 参考までに私聞きたかったんですが、これ、まちづくり戦略課のほうでは、例えば振興とか産業とか観光という意味合いで、止幾と町をセットでPRする広報活動とかは今までどんなことをやってきたんでしょうか。

○まちづくり戦略課長（大曾根直美君） 黒澤止幾に関して。ちょっと私も把握していないので申し訳ないです。

○副委員長（鯉渚秀雄君） やってないってはっきり言ったらいいでしょう。

○委員（河原井大介君） PRしてないんですね、当然ね。だから、そのPRするという意味合いではいい請願だと思いますけれども。

○委員（小林祥宏君） 所管でやってもらおうか、いずれにしても。

○委員（河原井大介君） そういう議論は今までしたことはないですね。

○委員（小林祥宏君） いずれにしてもこの規模の問題だから、どのように復元するのか、例えば記念碑とかいろいろなやり方があると思います。それは所管で審議して。調査費というのは計上して可決されているわけだから。

○議長（小坏 孝君） その調査待ちの段階のように。

○副委員長（鯉渚秀雄君） 要はこれ同時平行的に進んじゃったやつだから、請願の署名とりながら、町の調査費は遅かったでしょう今回、選挙終わって可決されたの。

○議長（小坏 孝君） 議会で通ったんだから。

○副委員長（鯉渚秀雄君） その時点ではもうこれ、署名集めをしていたんだから。

○議長（小坏 孝君） これは署名活動が何のために署名活動やっているのかなんていうのは……、そのために調査費つけたんだろうから。あんまり苦しませるなよ議会議員を。

○委員長（関 誠一郎君） それでは、請願の取り扱いについて、従来から各所管常任委員会に付託し審査を行っていただいております。今回も同様でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（関 誠一郎君） はい、ありがとうございます。

それでは、請願第1号 黒澤止幾の生家保存に関する請願は教育産業常任委員会に付託し、会期中の審査をお願いをしたいと思います。ありがとうございました。

最後に、(2) その他であります。

委員の皆様方から何かありましたら、お願いいたします。

[発言する者なし]

○委員長(関 誠一郎君) なければ、次に、執行部または事務局から何かありましたら、お願いします。

まちづくり戦略課長。

○まちづくり戦略課長(大曾根直美君) まちづくり戦略課なんですけれども、資料についての説明の機会をいただきたいと思っております。

内容につきましては、東京オリンピックに係る事前キャンプの誘致ということでご説明を行いたいと思います。できれば全員協議会の日に時間をとっていただければ。

○委員長(関 誠一郎君) それは控室で、本会議。

○まちづくり戦略課長(大曾根直美君) 今までですと控室で。時間は……。

○副委員長(鯉淵秀雄君) 理由を説明してくださいよ。ただ東京オリンピックで全協開いて下さいって言われたって、何のための全協なのかわからない。

○まちづくり戦略課長(大曾根直美君) 今までの経緯からお話ししますと、平成29年4月に茨城県政策審議室よりモンゴル国から空手競技についてキャンプの受け入れを可能な自治体を探しているということで町に話がありまして、町のほうで受け入れ可能ということで手を挙げております。平成29年11月にモンゴル国が本町を訪問をして七会町民センター体育館を視察しております。平成29年12月に本町で事前キャンプについての空手連盟の方で承認を得たという連絡が来ております。平成30年2月、ことしですけれども、内閣官房庁の東京オリンピック競技大会で東京パラリンピック競技大会推進本部事務局より、第6次ホストタウンに登録をされておきまして、現在、相手側から11月ごろにキャンプをしたいという申し入れが来ている状態でありまして、それをするには協定を締結したりとか、そういったことをしていかなくちやならないので、ご説明をしたいということです。

○委員長(関 誠一郎君) はい。

○副委員長(鯉淵秀雄君) そうすると、モンゴルの空手のは本町受け入れはおおむね決定ということですね。協定書……

○まちづくり戦略課長(大曾根直美君) まだ協定はしておりません。

○副委員長(鯉淵秀雄君) ほぼ決定ということなんでしょう。

○議長(小塚 孝君) オリンピックに出られるの。

○まちづくり戦略課長(大曾根直美君) 1年間後ですので、そこまでは。事前のキャンプということです。

○副委員長(鯉淵秀雄君) 事前キャンプとしては決定したんでしょう、おおむね。

- まちづくり戦略課長（大曽根直美君） 相手側でそういう話がきているので。
- 副委員長（鯉渕秀雄君） だから、決定しないやつを全協開いたってしようがないでしょう。
- まちづくり戦略課長（大曽根直美君） いや、こういったことで動いて……
- 副委員長（鯉渕秀雄君） そういう話がありますだけということで全協開くってこと自体ナンセンスだよ。
- 議長（小塚 孝君） キャンプをやりますとって……
- 副委員長（鯉渕秀雄君） だから、見込めるといふことであればね、もう……
- まちづくり戦略課長（大曽根直美君） 相手側からそういった連絡が来ているので、11月にキャンプをしたいということで進めてしまって……
- 副委員長（鯉渕秀雄君） ことしの。
- まちづくり戦略課長（大曽根直美君） そうですね。そういう情報が来ているので、うちではまだ協定とか全然交わしていないので……
- 副委員長（鯉渕秀雄君） もう少し詳しく決定してからでいいでしょうよ。
- 委員（藺部 一君） だって、そういう話になって、議会のほうに何も話ないのに、何だって町のほうで一方的に進めるの。議長、おかしいべな。
- 委員（河原井大介君） ちょっと確認します。
- 〔発言する者多数〕
- 委員（河原井大介君） 費用というか、お金はどっち持ちなんですか。
- まちづくり戦略課長（大曽根直美君） ちょっとそこまで私はまだ。
- 委員（河原井大介君） ここは来る訳ですよ、向こうが勝手に来るってことなんですか、それともこちらで呼ぶということですか。
- まちづくり戦略課長（大曽根直美君） その辺のまだ確認をしていないんですけども、今予算取りをして、協定を結ぶための予算を取ってありまして、それについては……
- 委員（藺部 一君） 載ってるの、ここに。
- まちづくり戦略課長（大曽根直美君） 当初予算で載っています。当初予算で160万くらい。
- 委員（河原井大介君） 160万、じゃあお金をあげて、来てくれるということですか。
- まちづくり戦略課長（大曽根直美君） そうですね協定すれば。半分については県予算で、一財が半分で。
- 委員（河原井大介君） 県予算はいいんですけども、そのお金を使ってモンゴルの方を呼ぶということですね。
- まちづくり戦略課長（大曽根直美君） いや、そこはまだ確認していないので。
- 議長（小塚 孝君） 確認してから説明しろよ。そういうくまさん、はっちゃんの集まりじゃないんだから……。

○副委員長（鯉淵秀雄君） 説明っていったって決定していないやつを説明したってさ。

○議長（小坪 孝君） 決定もしてねえやつを、金の使い道だの何だの、補助金で出すんなら155万つけちゃって、本当はこっちから行くわけだったもんな、誘致活動。何でそれ呼ぶことになったの。

○まちづくり戦略課長（大曾根直美君） まだ予算……

○議長（小坪 孝君） こっちから誘致活動に、合宿をやってくださいと行って行くことになっているのに、今度はいきなり向こうから合宿に来るんだというのは、話の段階が違うべよ。俺が聞いたのは、向こうさ誘致活動に行くと。合宿をやってもらうのに誘致活動に行くということで言われていて、いきなり今度は合宿に来るとというのは、これはやっぱり内々で話し合って、それからいきなり発表してくんちよよ。

○委員長（関 誠一郎君） 内容が煮詰まって決まって、そのときにどうしてモンゴルになったのかという、そこらの決定のこれは議員として聞きたいから。その辺決まってからでいいんじゃないの。

○まちづくり戦略課長（大曾根直美君） ある程度決まってから協定書を結ぶのは、多分9月まではそういった連絡が来ているので結ばなくちゃならないので。

○副委員長（鯉淵秀雄君） 協定書ができてから結ぶ前に。

○まちづくり戦略課長（大曾根直美君） まだ全然話を進めている段階であって。

○委員（河原井大介君） ちなみにモンゴルの方は誰と話をして、協定書を結ぶという段取りを。

○まちづくり戦略課長（大曾根直美君） モンゴルの空手連盟です。

○委員（河原井大介君） 空手連盟と町がやっているんですか。

○まちづくり戦略課長（大曾根直美君） 資料持っていないので。

○議長（小坪 孝君） 代表者もわからないで我々に説明するというのはおかしいんじゃないの、それ。

○まちづくり戦略課長（大曾根直美君） 説明の機会をいただいて。

○議長（小坪 孝君） 本当はこっちから誘致活動に行くわけなんですよ。

〔発言する者多数〕

○委員長（関 誠一郎君） あとは協定書の素案ぐらい出来てきて、それを議会に提出出来るような……

○議長（小坪 孝君） こっちから誘致活動に行くという話はどうしたの。

○まちづくり戦略課長（大曾根直美君） ちょっとそこは、私も4月にまちづくり戦略課に……、予算上ではそういった予算が取られているので。

○副委員長（鯉淵秀雄君） だから、その予算というのは何のためなの。

○まちづくり戦略課長（大曾根直美君） 予算については、モンゴルからこちらに来ていただく旅費とか、そういったもの。

○副委員長（鯉淵秀雄君） モンゴルで支払う旅費……。

○議長（小唄 孝君） 何で俺にはこっちから誘致活動に行くといったものを、向こうから呼ぶ料金に変わっちゃうんだよ。課長が新しくなったからっていったって。

○委員長（関 誠一郎君） 料金払ってやるの。

○委員（藺部 一君） 何、こっちで料金持つの。

○まちづくり戦略課長（大曾根直美君） 全部そうですね。どこの市町村も。こちらから行くとかそういった方向で進めるとなれば、そう進めても構わないです。ちょっとまだ全然。

○議長（小唄 孝君） こっちから誘致活動に行くわけになっているんだ、町長との話は。それが何で変わったんだか、変わった時点で早く話しろよ。ここで発表する前に。

[発言する者多数]

○委員長（関 誠一郎君） いずれにしても、モンゴルからの旅費も全部こっち持ちだなんていう話は初めて聞いた話だから。

○議長（小唄 孝君） それは認めてもらえぬ。予算は向こうのために使うわけないもん、こっちから誘致活動に行くための予算なんだもん、予算のときにそういう説明で、予算を認めたのに、向こうから呼ぶ旅費だなんて話で、ころころ、ころころ変わっちゃうんじゃないよ。

○委員長（関 誠一郎君） ほかに、執行部。

総務課長。

○総務課長（河原井 明君） また、元農業政策課職員の不祥事につきまして、全職員には再発防止ということで過日、皆さんに議会控室において説明しました3つの取り組みなんですけれども、それを徹底させ信頼回復に努めてまいります。

それと、私のほうからも、総務課よりなんですけれども、全協開会前に議員控室におきまして原子力災害に備えた広域避難ガイドマップについてご説明させていただきます。

内容については、こういうマップを作成しました。これは避難先が栃木県の5つの町の部分です。これで言うと、芳賀、高根沢、市貝版とあとこれで言うと益子、茂木版ということで2部をつくってあります。

それで、対象区域、これは東海第2発電所から30キロ以内の町民に全戸配布を予定しております。

そういうことで、全協前にこの点について説明をさせていただきたいです。

以上です。

○委員長（関 誠一郎君） 七会あたりは30キロ圏内なの。

○総務課長（河原井 明君） 一応30キロ以内でして、対象外は七会地区の徳蔵地区、あと上下赤沢、あとは真端、その4つの地区につきましては30キロ離れていますので、これはちょっと配布はしないということです。そういうことで、そのときに説明をさせていた

だきます。よろしく申し上げます。

○委員長（関 誠一郎君） ほかに執行部からありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（関 誠一郎君） なければ、事務局。

○議会事務局長（阿久津雅志君） 2点ございます。

まず、毎度のことのように閉会中の議会運営委員会の所掌事務調査についてのご審議をお願いしたいと思います。

それからもう1点、今年度予算化しました議会の録画中継についてでございます。

開かれた議会ということで現在協議を進めておりまして、6月議会の様子を試験的に録画して、非公開で各議員さんにそれを見ていただいて、こういうもので、こんなふうに公開していきたいと思っておりますというのを確認していただく流れで考えてございます。ご審議のほどよろしく申し上げます。

○委員長（関 誠一郎君） 説明が終わりました。

皆様のご意見、ご質問をお受けいたします。

〔「いいんじゃないですか」と呼ぶ者あり〕

○委員長（関 誠一郎君） はい。それでは、議会運営委員会の閉会中の所掌事務調査につきましては、従来どおり日程に入れることでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（関 誠一郎君） じゃあ、録画のほうは、今事務局から説明がありましたように、試験的ですけども進めますということでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

---

## 閉 会

○委員長（関 誠一郎君） 以上で当委員会に付議されました全議案につきまして審議を終了いたします。

ここで、閉会に当たりまして鯉淵副委員長よりご挨拶をいただきます。

○副委員長（鯉淵秀雄君） 午後のひとときであります。慎重審議、大変ありがとうございました。議運の中でまた問題がありそうな発言もございましたが、今後、そうしたものを一つ一つ皆様とともに解決に向かい、今言われた様に開かれた議会づくりができればと思っております。

本日は大変ご苦労さまでございました。

午後 2時45分閉会